

(別記)

令和3年度御船町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当町の農業は、平坦地域と中山間地域に大別され、平坦地域の水田における農業は、水稲と麦等の土地利用型農業が中心で、葉タバコ農家を核としたWCS用稲の作付けに加え、近年は大豆の作付面積が増加している。

また、中山間地域においては、水稲と露地野菜の作付が中心で、豊かな水と気候を利用した農業が営まれている。

一方、農家の高齢化や後継者不足が進んでおり、特に中山間地域においては、有害鳥獣被害の問題も抱えており、農業人口の減少や、耕作放棄地の増加などが深刻な状況で、水稲作付面積の維持が課題となっている。

さらに、震災から5年が経過し、農地等の復旧は進捗しているものの、度重なる水害等もあり、未だ完全復旧には至っておらず、農地・農業用施設を復旧するにも個人負担が大きく高齢化や後継者不足も重なり、離農を考える農家が多数見られる状況となっている。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

1. 適地適作の推進

当地域では麦や大豆、野菜など様々な高収益作物が栽培されており、農業者毎に作付体系に適合した品目の導入を図っていく。

2. 収益性・付加価値向上への取組

付加価値向上への新たな取組として、麦の新品種である「セトデュール」栽培の取組への支援を行っているが、今後の生産者の要望により新たな収益性・付加価値向上への取組として新たな品目導入についての機運が高まってくれば、積極的な支援を行うよう検討を重ねる。

3. 新たな市場・需要の開拓

現状、個々の農家による契約栽培などが行われ、麦の新品種である「セトデュール」による新規市場の開拓が図られているが、今後地域で推進する機運の高まりがあれば、積極的な支援を検討していく。

4. 生産流通コストの低減

生産性向上のために「強い農業・担い手づくり総合支援交付金」や「産地生産基盤パワーアップ事業」等を活用し、施設整備を進めていく。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

畑作物である野菜等の耕作を行っている水田については、水路や輪作等の関係により畑地化が難しいが、現在タバコの生産量が減少しており、輪作水田を畑地化出来ないか地域農業者と相談しながら検討を行っていく。

4 作物ごとの取組方針等

町内の約 997ha（不作付地を含む）の水田について、適地適作を基本として、平坦地域では、主食用米と麦の組み合わせや、葉タバコ・飼料作物等と新規需要米や加工用米の組み合わせを、中山間地域では、主食用米と露地野菜の組み合わせによる水田フル活用を実現する為、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大及び農地の保全を図ることとする。

(1) 主食用米

米については、ヒノヒカリを中心として J A や御船共栄（株）認定方針作成者の指導により全農家に栽培履歴の記帳を徹底させ、安心して食べられる高品質・良食味米の生産に取り組み、特に中山間地域においては、吉無田高原の湧水を生かした湧水米・減農薬米等の付加価値を付けたブランド化を行い、高く販売出来る米作りを推進し農業経営の向上を図る。また、農家所得を確保していく為、新規需要米等へ誘導を図りながら、配分された生産数量目安での生産を確保する。

(2) 備蓄米

主食用米の価格と比べても遜色ないなど取組農家にとってメリットが大きいことから、県別優先枠の範囲で J A や御船共栄（株）等の集荷業者が策定する生産計画に基づき、配分枠の全量生産を目指す。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

産地交付金を活用し、団地化の取組を支援し、需要に応じた作付けの推進を図る。また、耕畜連携（資源循環）による水田の地力維持に取組み、水田利用率の向上に資する支援を行っていく。

イ 米粉用米

米粉を使った加工品については需要が高まっている。今後は米粉用米の需要が高まるが見込まれるため、作付けを推進する。団地化を推進し、生産面積の拡大を図る。

ウ 新市場開拓用米

現在、当地域での取組が行われていないものの、今後の需要の高まり等を観察しながら、生産の推進について検討を行っていく。

エ WCS 用稲

WCS 用稲については、葉タバコ農家の主要転作作物として、今後も生産活動を行う組織育成を図り、安全で高品質な自給飼料の確保に努め、現行の面積を維持す

る。

オ 加工用米

生産拡大にあたっては、団地化を推進し、当町の担い手に対する加工用米への加算も併せて行うことで、生産面積を維持する。産地交付金を活用し、担い手（人・農地プランに位置づけられた生産者、以下同じ。）への作付集約を推進するとともに生産の団地化を図る。二毛作による水田の有効活用についても振興する。

(4) 麦、大豆、飼料作物

麦、大豆については、J Aや御船共栄（株）等の集荷業者の栽培技術指導のもと実需者の需要に応じた新品種の導入について積極的に取り組む。また、排水不良の圃場については、国の事業を活用し、暗渠の施工を行い、品質向上や二毛作による水田の有効活用を推進しながら作付拡大を目指す。

大豆については、熊本地震後の町の振興作物の一つとして位置づけ、産地交付金を活用し、担い手への作付集約を推進するとともに生産の団地化を図る。

飼料作物については、産地交付金を活用し二毛作の取組を振興すると共に、耕畜連携（資源循環）による水田の地力維持に取組み、水田利用率の向上に資する支援を行っていく。

(5) そば、なたね

現在、当地域での取り組みは行われていないが、山間地である吉無田高原付近の遊休農地を活用したそばの栽培などに関心が高まってきており、今後の需要の高まり等を観察しながら、生産の推進体制について検討を行う。

(6) 高収益作物

当地域の特色である、吉無田高原の豊かな水を利用した少量多品目の露地野菜をJ A等の栽培技術指導のもと、「吉無田高原野菜」としてブランド化を行い、付加価値を付けた販売を図るとともに、露地野菜以外の作物についても、農地保全などの多面的機能を維持するために非常に大きな役割を担うことから、これまでと同様、産地交付金において支援を行いながら、今後作付面積の維持・拡大を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

作物	前年度 作付面積 (ha)	当年度の 作付予定面積 (ha)	令和4年度の 作付目標面積 (ha)	令和5年度の 作付目標面積 (ha)
主食用米	558.0ha 2812.3t	540ha 2,857t	540ha 2,857t	540ha 2,857t
備蓄米	1.7ha	3ha	3ha	3ha
飼料用米	1.0ha	3ha	3ha	3ha
米粉用米	3.8ha	5ha	5ha	5ha
新市場開拓用米	0ha	0ha	0ha	0ha
WCS用稲	37.5ha	50ha	50ha	50ha
加工用米	1.1ha	3ha	3ha	3ha
麦	129.5ha	135ha	135ha	135ha
大豆	13.5ha	20ha	20ha	20ha
飼料作物	15.5ha	18ha	18ha	18ha
・子実用とうもろこし	0ha	0ha	0ha	0ha
そば	0.2ha	1ha	1ha	1ha
なたね	0ha	0ha	0ha	0ha
高収益作物	137.4ha	142ha	142ha	142ha
・野菜	65.8ha	68ha	68ha	68ha
・花き・花木	4.3ha	5ha	5ha	5ha
・果樹	67.3ha	69ha	69ha	69ha
・その他の高収益作物	0ha	0ha	0ha	0ha
その他	27.3ha	32ha	32ha	32ha
・地力増進作物	4.9ha	5ha	5ha	5ha
・景観形成作物	4.7ha	5ha	5ha	5ha
・雑穀	0.1ha	1ha	1ha	1ha
・重点振興作物	2.5ha	4ha	4ha	4ha
・その他	15.1ha	17ha	17ha	17ha
畑地化	0ha	1ha	1ha	1ha

※ 主食用米の当年度、令和4年度、令和5年度の目標値において使用した単収は 529kg/10a

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
				R2 年度	R5 年度
1	大豆	担い手加算 （基幹）	取組面積	11.6ha	12ha
			収量	100kg/10a	120kg/10a
2	加工用米	担い手加算 （基幹）	取組面積	1.1ha	2ha
			収量	496kg/10a	500kg/10a
3	麦	担い手加算 （基幹）	取組面積	0.4ha	1ha
			収量	369kg/10a	400kg/10a
4	麦、大豆、加工 用米、飼料作物	二毛作助成（二 毛作）	麦取組面積	128.7ha	130ha
			飼料作物取組面積	11.5ha	12ha
			水田利用率	91.4%	92%
5	米粉用米	団地化加算 （基幹・二毛 作）	米粉用米取組面積	0ha	1ha
			米粉用米集積率	0%	60%
	飼料用米		飼料用米取組面積	0ha	1ha
			飼料用米集積率	0%	50%
	加工用米		加工用米取組面積	0ha	1ha
			加工用米集積率	0%	50%
	大豆		大豆取組面積	4.6ha	6ha
			大豆集積率	39.6%	50%
重点振興作物	重点振興作物 取組面積	0ha	1ha		
	重点振興作物 集積率	0%	30%		
6	野菜	地域振興作物助 成 （基幹）	野菜取組面積	27.6ha	30ha
	花き		花き取組面積	2.5ha	3ha
	花木		花木取組面積	0ha	1ha
	果樹		果樹取組面積	0.5ha	1ha
	雑穀、その他作 物		雑穀等取組面積	0.1ha	1ha
7	ほうれん草、小 松菜、菜花、菊 芋	重点振興作物助 成 （基幹）	取組面積	1.7ha	3ha

8	地力増進作物 景観形成作物	営農再開準備期 間助成 (基幹)	地力増進作物 取組面積	1.7ha	【R3年度】 2ha
			景観形成作物 取組面積	2.2ha	【R3年度】 3ha
			販売作物 取組面積	0ha	【R3年度】 1ha
9	飼料作物、 WCS用稲	資源循環の取組 (耕畜連携) (基幹・二毛 作)	取組面積	0ha	3ha
			実施率	0ha	20%
10	野菜、花き・花 木、果樹、加工 用米	高収益作物等拡 大加算 (基幹)	野菜取組面積	0ha	3ha
			花き・花木 取組面積	0ha	3ha
			果樹取組面積	0ha	1ha
			加工用米取組面積	0ha	1ha
11	麦(セトデュール)	新品種麦(セト デュール)栽培 の取組 (二毛作)	取組面積	1.1ha	2.5ha
			収量	300kg/10a	400kg/10a